

林業ミニ情報 No.151

平成31年1月

- 1 原木しいたけ（施設）出荷自粛解除指導の取組について1
(常陸太田林業指導所 綿引)
- 2 鹿嶋市立豊津小学校で森林・林業体験学習を開催2
(鉾田林業指導所 富田)

H30.普及三二情報(平成31年1月)

(常陸太田林業指導所 綿引 孝)

タイトル	原木しいたけ(施設)出荷自粛解除指導の取組について
年月日	平成30年11月14日(水),平成30年12月13日(木)
場所	日立市十王町高原及び日立市入四間町地内
内容	<p>東京電力福島第一原発事故の影響により、県内の原木しいたけは、19市町村が出荷の制限又は自粛の対象とされており、当常陸太田林業指導所管内では、高萩市、日立市の2市が出荷自粛の対象となっています。</p> <p>こうした中、生産者に対し、放射性物質低減のための原木きのこ栽培管理に関するチェックシートに基づいた指導・助言を行い、今年度は12月末までに、日立市内の生産者2名の出荷自粛を解除することができました。</p> <div style="text-align: center;"> { <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年11月14日：1ロット 新規解除 ・平成30年12月13日：3ロット 追加解除 } </div> <p>事故前までは、いずれも地元産の原木を使用して生産していましたが、現時点では、地元産原木は指標値である50ベクレル/kgを超過するものが多いことから、解除した生産者はいずれも他地域産の原木を使用しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>発生状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>群馬県産原木を使用</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">※ 栽培管理：直接地面につけない</p>
普及成果	<p>一部の生産者の出荷自粛が解除されたことによる波及効果で、新たにチェックシートに基づく栽培管理に取り組む生産者が増えることが考えられます。</p> <p>今後は、地元産原木を使わないことに伴う広葉樹林の荒廃や原木の不足が懸念されることから、地元産原木の使用の可能性について、調査を進めたいと考えております。</p>

H30.普及三二情報(平成31年1月)

(鉾田林業指導所 富田 衣里)

<p>タイトル</p>	<p>鹿嶋市立豊津小学校で森林・林業体験学習を開催</p>
<p>年月日</p>	<p>平成31年1月16日(水)</p>
<p>場所</p>	<p>鹿嶋市大船津 「鹿嶋市立豊津小学校」</p>
<p>内容</p>	<p>鹿嶋市立豊津小学校は、北浦の湖畔にある全校生徒60名の学校です。今回、5年生13名を対象に森づくりの講話と間伐材を使用した箸づくりの指導を行いました。</p> <p>はじめに、パワーポイントを用いて講和をしました。クイズ形式による説明や高性能林業機械の動画に、子どもたちも興味を持ったようです。また、チェーンソーを知らない子どもも多く、実物を見せると驚いていました。</p> <p>その後、茨城県産のヒノキ木材をかんなどで削って、お箸を作りました。子どもたちは皆、一生懸命作業に取り組みました。後半になると、一部の子どもたちから「手が痛くなってきた」「疲れた」という声も聞かれましたが、最後には全員が自分だけの「マイ箸」を完成させることができました。箸づくりを通して、木の感触を十分に感じてもらえたと思います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">箸づくりの様子</p>
<p>普及成果</p>	<p>子どもたちに対して、森林の働きや林業機械についての知識を普及するとともに、実際に木材に触れることで、森林・林業を身近に感じてもらうことができました。</p> <p>当指導所では、今後も各小学校等への出前講座を積極的に行い、子どもたちの森林・林業に関する関心を高めていきたいと考えております。</p>